取扱説明書

DVDホームシアターサウンドシステム

商品型番：HT-6000（エッチ・ティー）

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

株式会社 クマザキエイム

もくじ

ご使用になるまえに

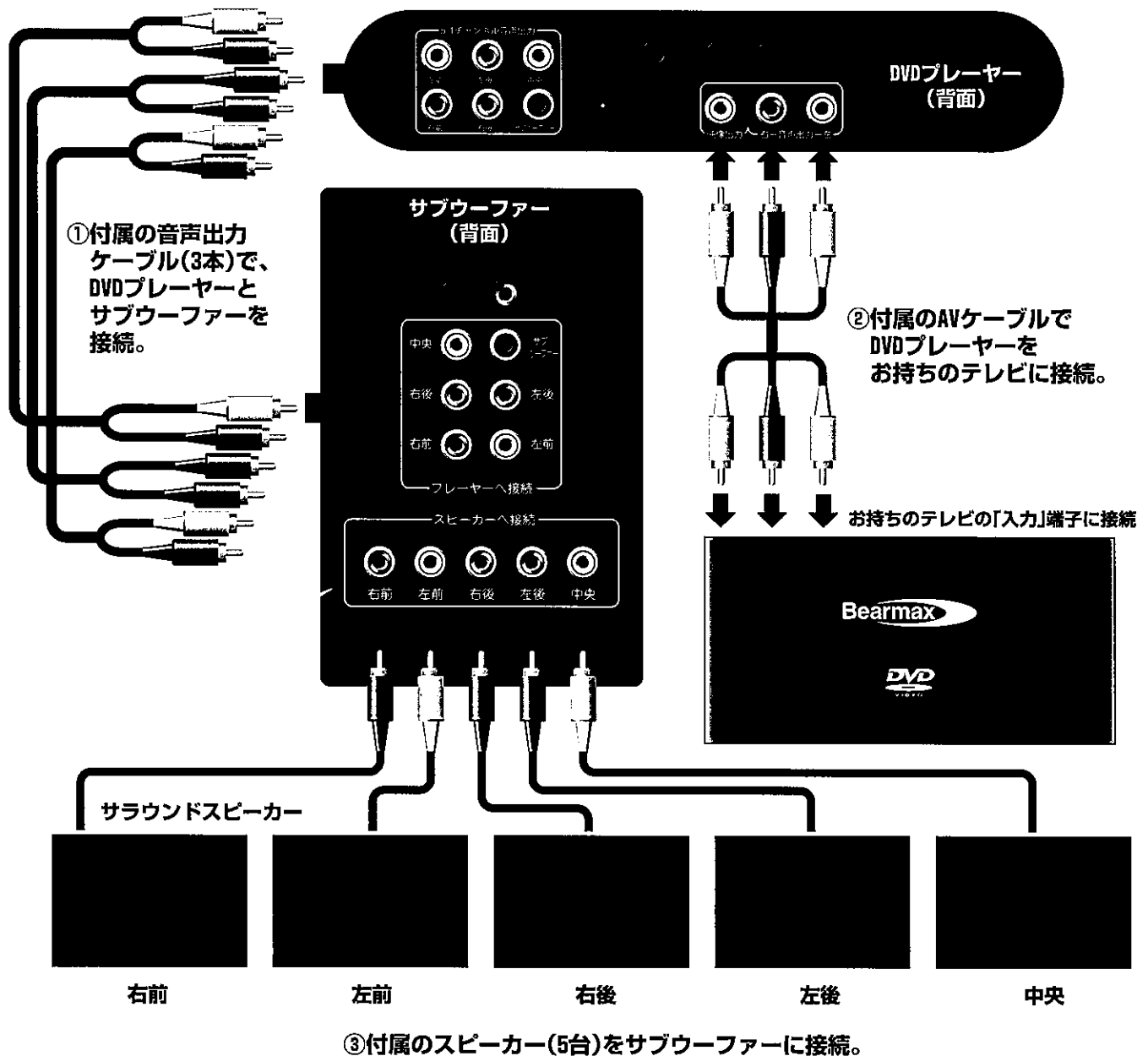
接続と準備

基本的な使い方

その他

DVDプレーヤーとスピーカーの接続方法

同梱されている各パーツを、下図のとおり接続してください。

③付属のスピーカー(5台)をサブウーファーに接続。

安全上の注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

 の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

 の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは総発売元・株式会社クマザキエイムに修理をご依頼ください。

● 煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店もしくは総発売元・株式会社クマザキエイムに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 本機の内部に水などが入った

● 異物が本機の内部に入った

● 映像や音が出ないなど（故障状態）

● 落としたり、キャビネットを破損した

安全上の注意（つづき）

⚠警告

電源について

■ 電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると、と、発熱などにより火災の原因となります。

● 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
● 電源コードは束ねたまま使用しない。
● たこ足配線はしない。

■ 電源コードを傷つけない

禁　止

無理な使いかたをすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

● 電源コードの上に重いものを乗せる。
● 途中でつぎ足したりなどの加工する。
● 無理に折り曲げる。
● 傷をつける。
● ねじったり、引っ張ったりする。
● 熱器具に近づける。電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店、または総発売元に修理をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 差し込み部分は定期的に点検を

定期的に電源プラグを抜いて、プラグやコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こり火災の原因となります。

■ 電源電圧100V以外で使用しない

禁　止

表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。火災感電の原因となります。

■ 国外では使用しない

禁　止

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any ather country.

■ 雷が鳴り出したら

接触禁止

電源プラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

■ 分解しない

分解禁止

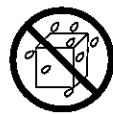
本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店、または総発売元にご依頼ください。

使用方法・設置

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

禁　止

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

■ ぬらさない

みずぬれ禁止

● 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
● 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

■ 異物を入れない

禁　止

通風孔やディスクトレイなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。（特に小さなお子様にはご注意ください。）火災、感電の原因となります。

■ 通風孔をふさがない

禁　止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

● 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
● 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
● テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

■ 壁にぴったりつけない

禁　止

本機の設置は、壁から10cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。
ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

■ 本機の通風孔やサブウーファーのポート（前面開口部）等に物を入れたり、落としたりしない。

禁　止

火災や感電の原因となります。

■ スピーカーケーブルは必ず壁等に固定する。

ケーブルに足や手を引っかけると、スピーカーが転落・落下し、故障したり、ケガの原因となります。

⚠注意

■ 電源プラグを抜くときの注意

ぬれ手禁止

● ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
● 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意

● 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
● 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 不安定な場所に置かない

禁 止

不安定な場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

禁 止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。

■ 持ち運びの注意

電源プラグを抜く

ディスクを取り出して電源を切り、外部接続をすべて外してからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ ディスクトレイに手を入れない

指をはさまれないよう注意

けがの原因となることがあります。
（特に小さなお子さまにはご注意ください。）

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁 止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意

電源を入れる前に、接続しているアンプなどの音量を最小にしてください。また、音量の調節は音量レベルを確認しながらおこなってください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

禁 止

携帯電話、テレビやモニターに近づけない。電磁波のためにテレビにノイズが発生し、画面のチラツキや携帯電話によるノイズの影響が生じることがあります。

■ 長時間使用しない場合やお手入れの際の注意

電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について

1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 乾電池（リモコン用）使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。
● 単4形乾電池以外は使用しない。
● 極性（＋と－）に注意し、表示通りに入れる。

禁 止

● 種類の異なるものや、新旧の電池を混ぜて使わない。
● 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。

● 長期間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておく。
もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注意

■ サブウーファーのポート（前面開口部）に手を入れない。

感電やケガの原因となることがあります。

禁 止

■ 持ち運ぶときには、サブウーファーのポート（前面開口部）に手をかけない。

ポートがはずれたり、本機を落としたりして、ケガの原因となることがあります。

禁 止

■ フロントおよびリアスピーカーを設置する際には、以下のことを注意する。

・壁に取り付ける場合、くぎなどの抜けやすいものは絶対に使用しないでください。
・薄いベニヤ板の壁や柔らかい壁には取り付けないでください。

■ センタースピーカーを設置する際には、スピーカーの底面積より狭い場所や傾斜のある場所には設置しない。

スピーカーが落ちて、ケガの原因になることがあります。

禁 止

使用上のお願い

取り扱いについて

・引っ越しなど遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
・長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなることがありますが、故障ではありません。
・ふだん使用しないときはディスクを取り出し、電源スイッチを切ってください。

設置場所について

本機を再生中、近くに設置したテレビやビデオ、ラジオの画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやビデオ、ラジオから離してください。

お手入れについて

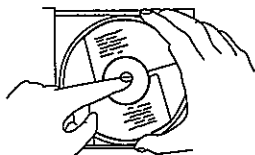
・キャビネットや操作パネルのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
・よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

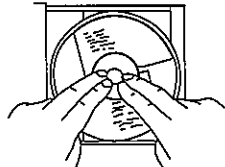
結露について

本機内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。
結露はこんなときおきます。
・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
・夏期に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。
結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2～3時間で水滴がなくなります。またコンセントに接続しておくと結露（霜付き）が生じにくくなります。

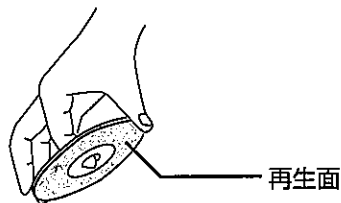
ディスクの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

センターホルダーを押さえ

再生面に触れないように
持って取り出す。

印刷面を上にして…

上から押さえて入れる。

ディスクの取扱いかた

・ 再生面には手をふれないでください。

ディスクの保管のしかた

・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

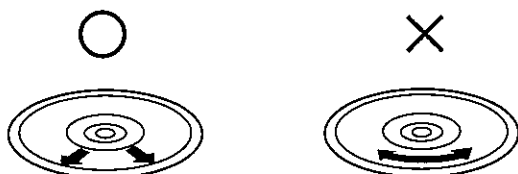
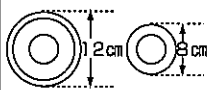
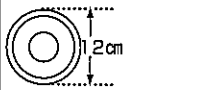
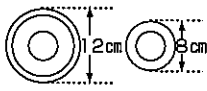
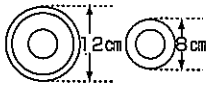
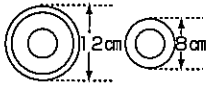
本機を持ち運びするときは

・ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスクのお手入れのしかた

・ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

○

×

必ず内側から外側へ

・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

・本機の近くでヘアースプレーや加湿器を使用しないでください。レンズがくもったりすることがあります。

ディスクについてのご注意

・ディスクに紙やシールを貼らないでください。
また、セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
・ハート形や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
（特殊形状ディスクの例）

 または マークの入った CD/CD-R ディスクをご使用ください。

・ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
・ディスクに傷、指紋、ほこりなどがついていると再生できないことがあります。

・再生中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雑音が入る場合は、本機と他の機器とを離してください。
・市販の CD スタビライザーは使用できません。
◆本機に強い衝撃を与えたとき。
◆薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
◆ディスクの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。

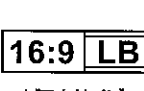
【コピーガード付き CD 再生について】

CD 規格に準拠しない「コピーガード付き CD」などのディスクについては、本機では再生できない場合があります。CD を再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。なお、CD 規格に準拠しないディスク再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはディスクの発売元にお問い合わせください。

お使いになる前に

再生できるディスク

本機では下記のディスクを再生することができます。

ディスク	ディスクの大きさ	マーク(ロゴ)	記録内容
DVD	12cm 8cm	DVD VIDEO	音声+映像
MP3	12cm	MP3	音声
Video-CD (VCD)	12cm 8cm	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	音声+映像
CD-DA	12cm 8cm	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声
Kodak Picture	12cm 8cm	Kodak Picture CD COMPATIBLE	画像(写真)

● 本機はNTSC テレビ(日本のテレビ)方式以外のディスクでは正しく表示しません。
● CD-R では音楽CD フォーマット、MP 3形式の音楽データ、またはJPEG の静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。
● DVD-R ではDVD レコーダーなどでビデオフォーマットで記録されたもので、かつファイナライズ処理されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態のよっては再生できないディスクがあります。
● VR フォーマットで記録したディスクは再生できません。
● 本機はKodakCD に記録されているJPEG データを再生することが可能です。

DVD再生時の機能や操作について

DVDは、制作者の意図により再生状態が決められています。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生するため、本機で設定した機能が働かない場合や、本機の操作が制約される場合があります。

ディスクやパッケージのマークについて

DVD ディスクやパッケージには下の表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像・音声の数や使える機能を表しています。
(DVD によっては機能が使えても、それらのマークが表示されていないものもあります。)

マーク	意　味
3	音声が記録されている数を表します。例えば数字が「3」の場合、3種類の音声(英語/スペイン語/日本語など)が記録されています。
2	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕(英語/日本語など)が記録されています。
3	アングルの数を表します。DVDでは、角度(アングル)の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるディスクがあります。
16:9 LB ビスタサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。映すテレビがワイドテレビか普通のテレビかによって、画像を切り替えられるものがあります。
2	再生可能なリージョン番号を表します。(下記を参照ください。)

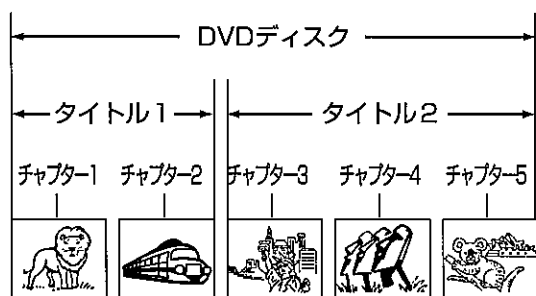
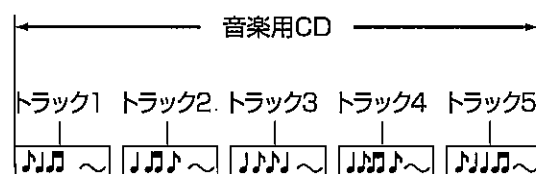
認定されていないディスクについて

正式な販売地域以外のDVD ディスクや業務用ディスクなどの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。正式な販売地域以外のDVD ディスクを再生しようとすると、「再生できない地域番号のディスクです。」というメッセージが画面に表示されます。

本機のリージョン番号は「2」です。
リージョン番号が「2」、または「ALL」のDVD を本機で再生することができます。

タイトル、チャプター、トラックについて

DVDは、タイトルという大きい区切りと、チャプターという小さい区切りに分かれています。
音楽用CDは、トラックで区切られています。

例：DVD

例：音楽用CD

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号をタイトル番号、チャプター番号、トラック番号といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

MP3について

MP3とはMPEGオーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを呼びます。

JPEGについて

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを呼びます。

著作権について

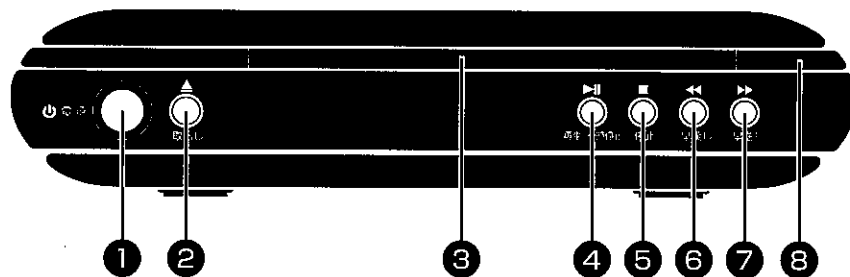
ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
本機は、アメリカ合衆国特許権と知的所有権上保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。許可がない場合は家庭用及びその他の一部の観賞用に制限されます。分解したり、改造することも禁止されています。

再生中再生後の音量にご注意ください

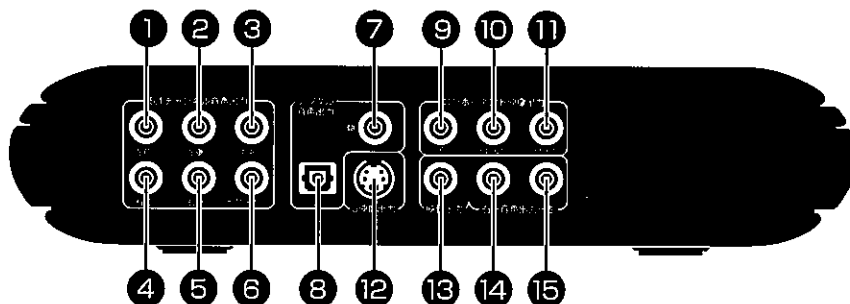
DVDや音楽CDに記録されている音声のレベルはディスクによって異なります。DVDの場合は音声出力モード（5.1chか2chかなど）によっても音声レベルが変わることがあります。音量を上げたDVDや音楽CDを再生中、そのまま入力切り換えをすると大きな音が出ることがありますので、ご注意ください。事前に音量を下げるよう心がけてください。

各部の名称

本体正面

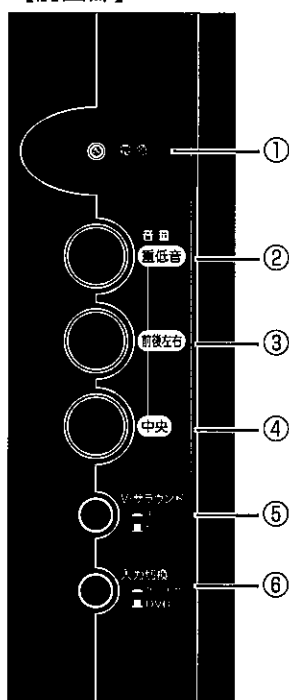
① 電源入／切ボタン
② ディスクトレイ開閉ボタン
③ ディスクトレイ
④ 再生/一時停止
⑤ 停止
⑥ 早戻し再生
⑦ 早送り再生
⑧ リモコン受光部

本体背面

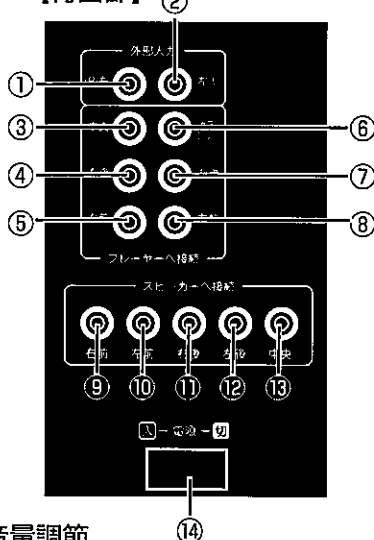
<5.1 チャンネル音声出力>
① 左前音声出力
② 左後音声出力
③ 中央音声出力
④ 右前音声出力
⑤ 右後音声出力
⑥ サブウーファー音声出力

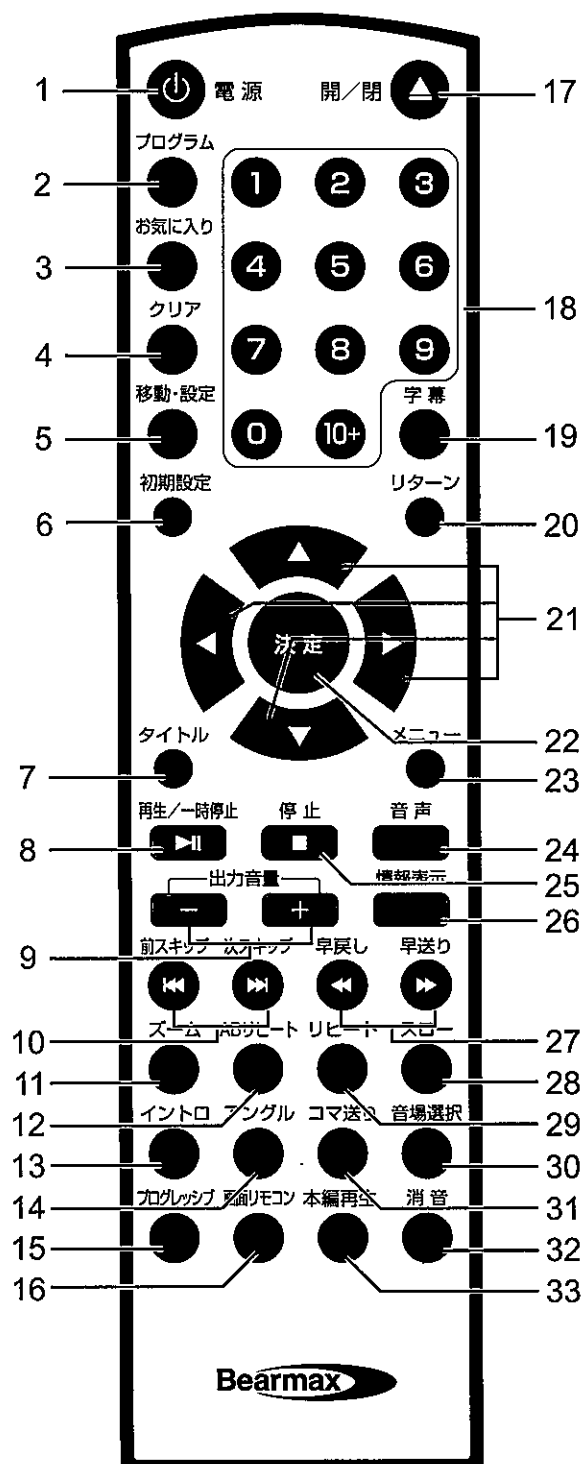
<デジタル音声出力>
⑦ デジタル同軸音声出力
⑧ 光デジタル音声出力

<コンポーネント映像出力>
⑨ (Y) 出力
⑩ (Pb/Cb) 出力
⑪ (Pr/ Cr) 出力

<アナログ AV 出力>
⑫ S 映像出力
⑬ 映像出力
⑭ 右音声出力
⑮ 左音声出力

サブウーファー

【前面部】

① 電源ランプ
② サブウーファー(重低音)音量調節
③ フロントL(前左)、フロントR(前右)
リアL(後左)、リアR(後右)
各スピーカー音量調節
④ センター(中央)スピーカー音量調節
⑤ バーチャルサラウンド切換
ステレオ音声を5.1チャンネルサラウンド音声に切り換えます。
⑥ 入力切換
外部ステレオ音声入力とDVDプレーヤー(5.1ch音声入力)とを切り換えます。

【背面部】

『外部ステレオ音声入力』
① 右音声入力
② 左音声入力
『5.1 チャンネル音声入力』
③ センター（中央）
④ リアR（右後）
⑤ フロントR（右前）
⑥ サブウーファー
⑦ リアL（左後）
⑧ フロントL（左前）
『音声出力』
（付属スピーカーと接続）
⑨ フロントR（右前）
⑩ フロントL（左前）
⑪ リアR（右後）
⑫ リアL（左後）
⑬ センター（中央）
⑭ サブウーファー電源入切

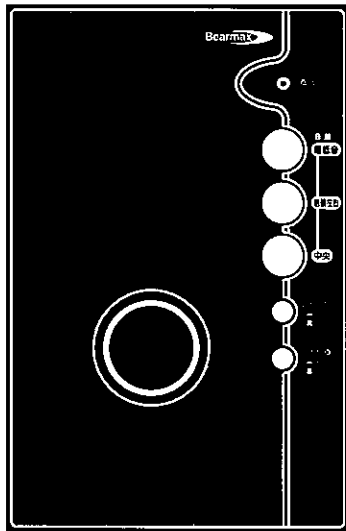
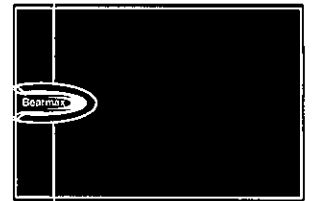
リモコン

1. 電源入/切(スタンバイモード)
2. プログラム再生
3. お気に入り記録再生
4. クリア
5. 移動再生・設定変更
6. 初期設定
7. タイトルメニュー表示
8. 再生/一時停止
9. 出力音量
10. スキップ(前/次)
11. ズーム再生
12. A-Bリピート再生
13. イントロ再生
14. アングル切換
15. プログレッシブ/インターレース切換
16. 画面リモコン
17. ディスクトレイ開閉
18. 数字
19. 字幕切換
20. メニュー表示
21. 方向
22. 決定
23. メニュー
24. 音声切換
25. 停止
26. タイトル/チャプター情報表示
27. 早戻し/早送り再生
28. スロー再生
29. リピート再生
30. 音場選択
31. コマ送り再生
32. 消音
33. 本編再生

付属品を確かめる / リモコンを準備する

梱包内容を確かめる

同梱されているパーツを確認してください。

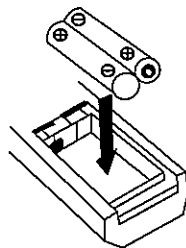
・DVDプレーヤー（本体）

・スピーカー×5

・サブウーファー

・リモコン

・音声接続ケーブル（赤白黄緑青黒／3本組）
・DVDプレーヤー用電源コード×1本
・AVケーブル（赤白黄）×1本
・リモコン用単4乾電池×2本
・取扱説明書（本書）

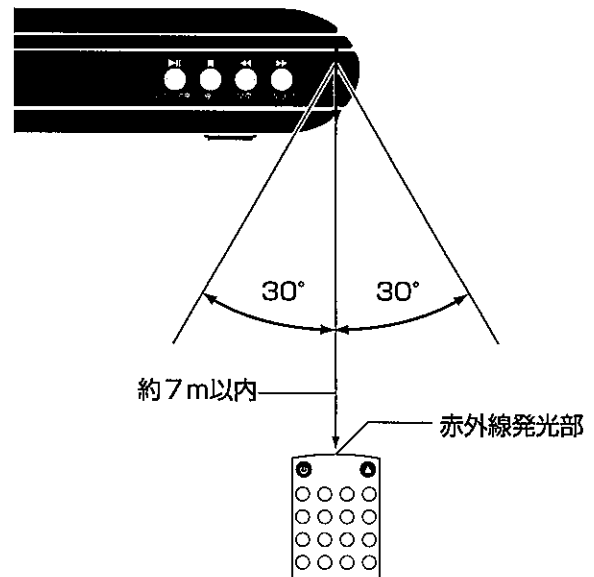
リモコン用電池の入れ方

1. リモコンの裏蓋にあるツマミを押し、蓋を開けます。
2. 単4型乾電池2本を、リモコン電池ケース内の表示に合わせて、プラス(+)とマイナス(−)の向きを間違えないように、正しく入れます。
   乾電池は、マイナス側を先に入れてから、プラス側を入れます。
   裏蓋を閉じます。

乾電池が消耗したときは、交換してください。
乾電池が消耗すると、リモコンを操作できる距離が極端に短くなったりします。このような場合は、すべて新しい乾電池に交換してください。

ご注意
・消耗した乾電池は早めに交換してください。
・新しい乾電池と、一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
・種類の異なる乾電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
・乾電池が液漏れをした場合には、直ちに乾電池を破棄してください。漏れた液にふれたり、衣類などに付着しないようにしてください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいに拭いてください。

リモコンの使える範囲

水平(垂直)方向で左右(上下)30度ずつ、直線距離で約7mまでの範囲です。

リモコンセンサー

●リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
●直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは、強い光が当たると正常に動作しないことがあります。

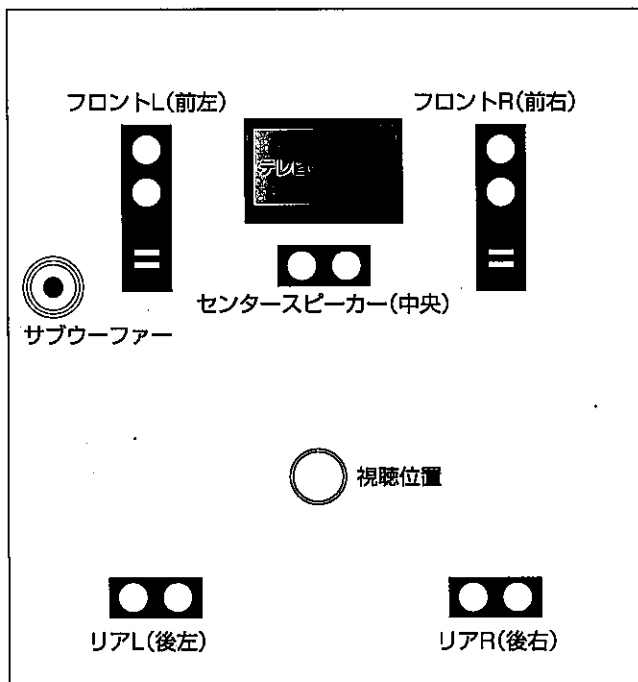
付属のスピーカーを準備する

本機は、フロントスピーカー（前右・前左　各1個）、センタースピーカー（中央1個）、リアスピーカー（後右・後左　各1個）、サブウーファー（1個）の5.1チャンネルスピーカーシステムで、最良の音場効果を楽しめるよう設計されています。

フロントスピーカーは、フロントチャンネルの音声（ステレオ音声）と効果音を出し、リアスピーカーは、サラウンドと効果音、センタースピーカーは、会話やボーカルなど画面中央に定位する音を出します。また、サブウーファーは、低音を強調するだけでなく、ドルビーデジタルやDTS、AACに含まれるLFE信号を正確に再現することができます。

【ご注意】
5.1チャンネルスピーカーシステムでお使いにならないときは、お使いになるシステムに合わせて、初期設定のオーディオ設定を設定してください。(28ページ)

スピーカーの設置場所を決める

スピーカーは下図のように配置してください。

フロントスピーカーL/R（前右・前左）
ステレオ再生と同様に、左右のスピーカーを視聴位置から等距離に設置します。テレビ（モニター）は、左右のスピーカーの中央に設置するようにしてください。

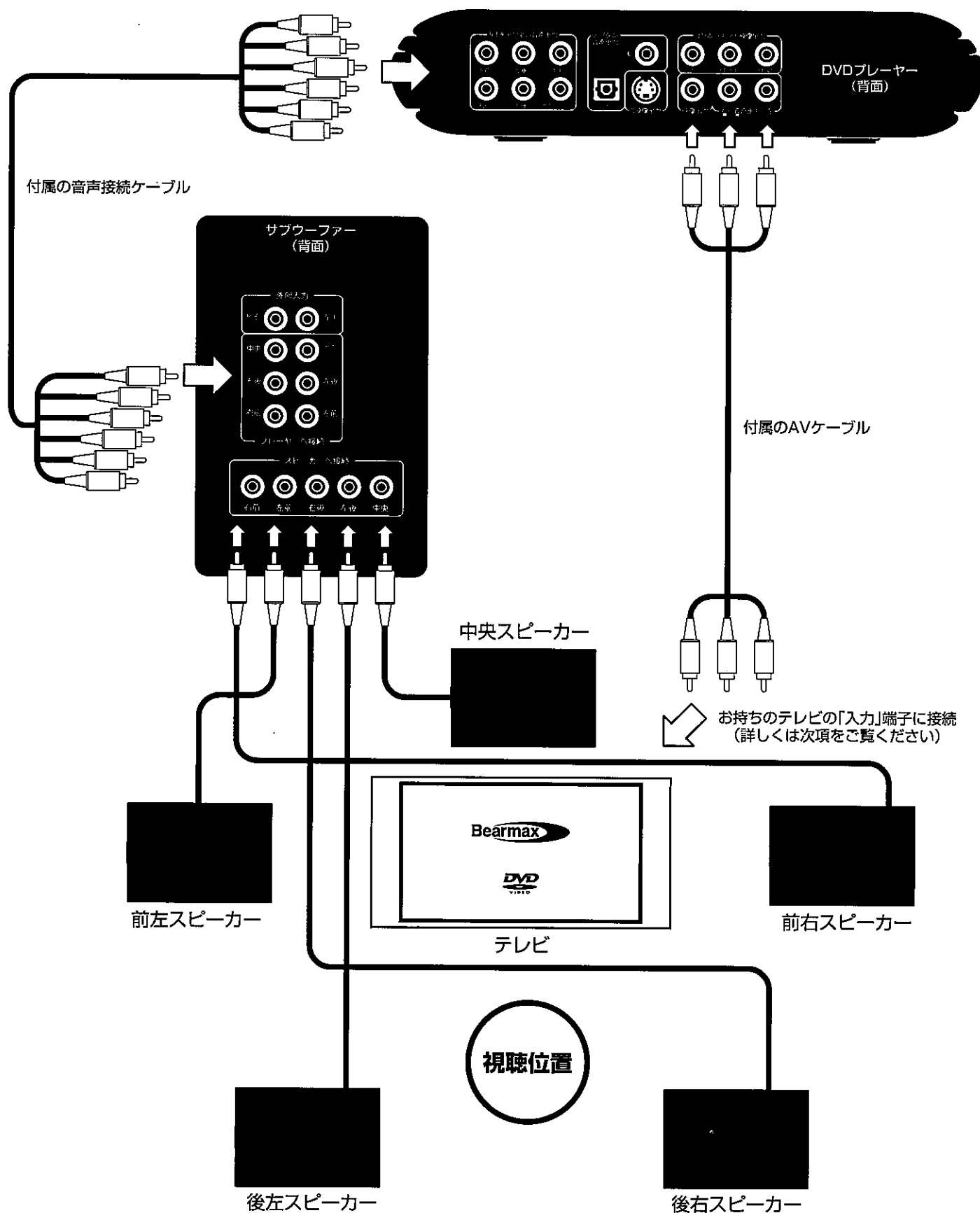
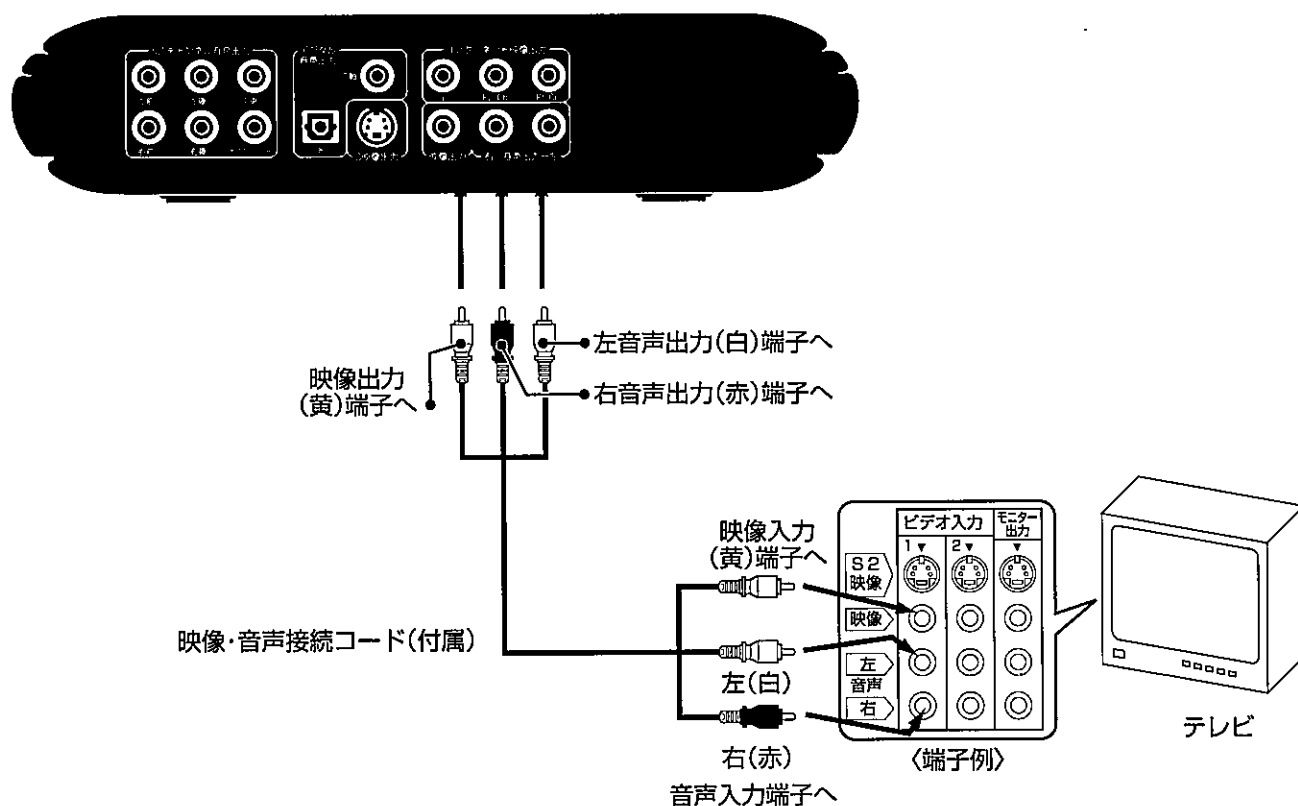
センタースピーカー（中央）
フロントスピーカーの中間に設置します。テレビ（モニター）を設置している場合は、テレビ（モニター）画面とスピーカーの前面を揃え、テレビ（モニター）の上や下など、できるだけテレビ（モニター）画面の近いところの中央に設置します。

リアスピーカーL/R（後右・後左）
後方斜め、スピーカーを視聴位置に向けて設置します。

サブウーファー
前方左右どちらかの壁面寄りで、壁の反射を防ぐために少し内向きに設置します。低音の聴こえ方は、スピーカーを置く位置と聴く位置の両方に影響されるので、設置する位置を変えてお試しください。

【ご注意】
テレビ（モニター）の映像が乱れるときには、スピーカーをテレビ（モニター）から離して設置してください。

付属のスピーカーを接続する

付属のスピーカーと DVD プレーヤーを下図のとおり接続します。

テレビと接続する

- すべての接続が完了したら、テレビの画面サイズ設定(「4:3PS」、「4:3LB」、「16:9」)をあわせてください。(27ページ)
- テレビがモノラルの場合は、映像・音声接続コード(黄・白)をテレビに接続します。(赤)を接続する必要はありません。
- 接続したテレビの端子に合わせて、外部入力を切り換えてください。(例:「ビデオ1」「ビデオ2」)

接続時の注意

- 他の機器を接続するときは、本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
- 本機とテレビは直接接続してください。コピー防止機能の働きにより画像が乱れることがあります。
- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- 本機の電源コードを、コンセントにつないだり抜くときは、接続しているアンプの電源スイッチを切ってください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めることがあります。

接続する（つづき）

S映像入力端子のあるテレビと接続する場合

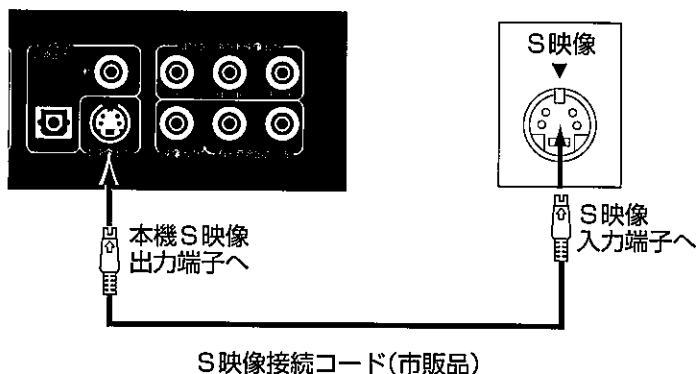
テレビにS映像入力端子がある場合は、S映像入力端子を接続するとよりきれいな映像が楽しめます。このとき、付属の映像接続コード（黄）は外してください。

1．市販のS映像接続コードで本機のS映像出力端子とテレビのS映像入力端子を接続する。
2．市販または付属の音声接続コードで本機の音声出力(左/右)端子とテレビの音声入力端子を接続する。

S映像接続コード(市販品)

コンポーネント映像入力端子（またはD端子）のあるテレビと接続する場合

本機のコンポーネント映像出力端子は、コンポーネントビデオ入力端子を持つテレビやプロジェクターに接続することができます。輝度、コンポーネント信号が独立して出力されるので、映像の本来の色を忠実に再現することができます。また、本機はインターレース方式またはプログレッシブ方式両方の映像出力方式に対応しています。

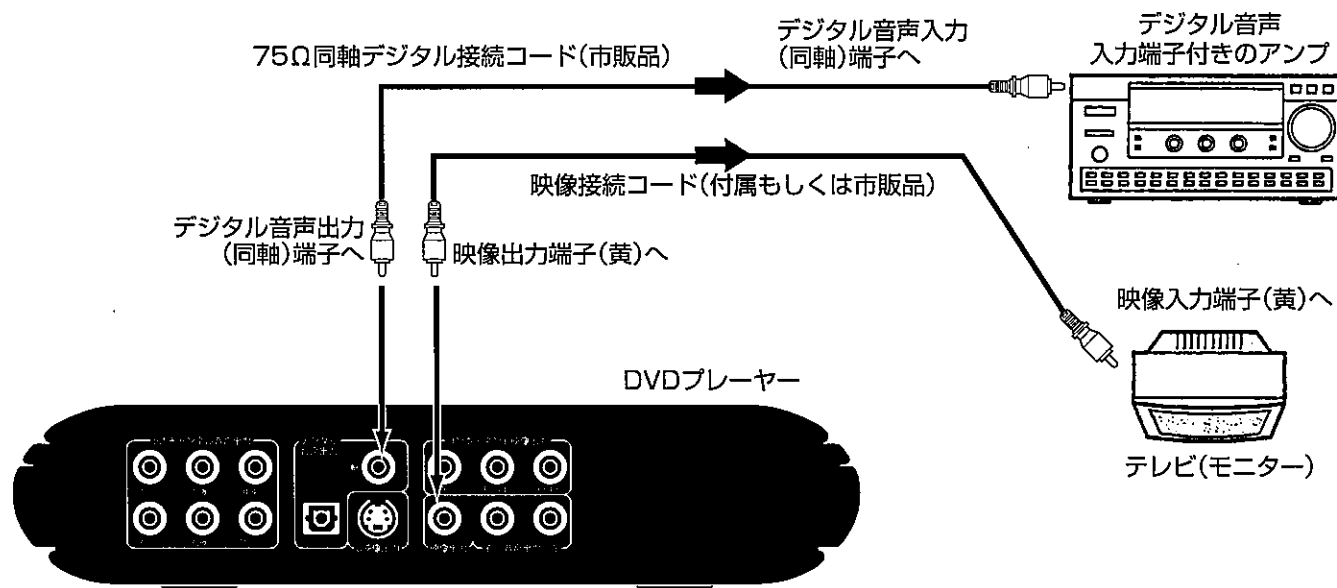
1．市販の接続コードで本機のコンポーネント映像出力端子とテレビのコンポーネント入力端子を接続する。
2．市販または付属の音声接続コードで本機の音声出力(左/右)端子とテレビの音声入力端子を接続する。
3．本機の映像出力方式を、接続したテレビに合わせて、インターレース方式またはプログレッシブ方式に設定する。

映像信号の出力方式（インターレースまたはプログレッシブ）を選択する

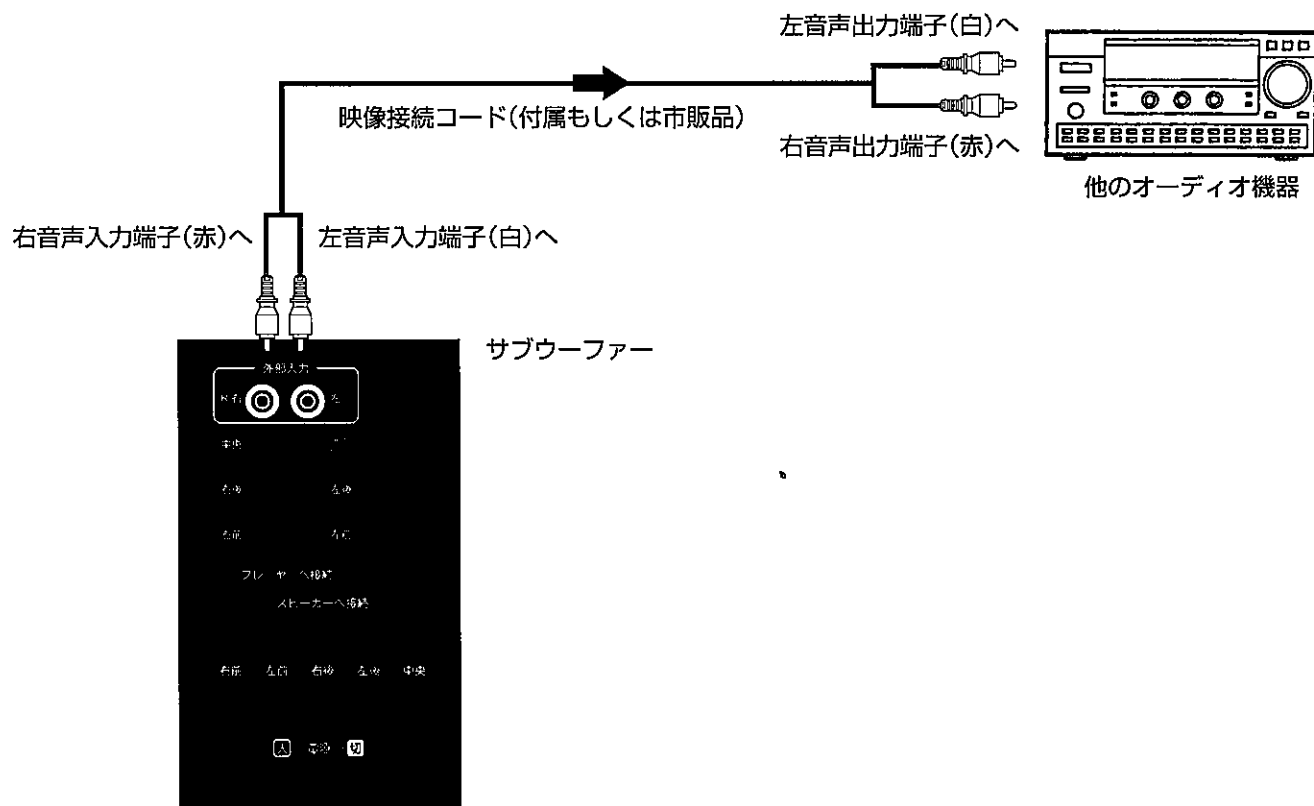
接続したテレビなどに合わせて、映像信号の出力方式を選択します。プログレッシブ方式では、画像のチラツキがおさえられ、解像度も良くなります。

1．プログレッシブボタンを押して出力方式を選びます。
　リモコンのプログレッシブボタンを押します。テレビ画面に「YUV（インターレース）または「YPBPR（プログレッシブ)」が表示されます。
2．ボタンを押すたびに切り換ります。
　・YUV（インターレース）
　　通常のテレビなど（インターレース方式）に接続しているときに選択します。
　・YPBPR（プログレッシブ）
　　プログレッシブ方式に対応したテレビなどに接続しているときに選択します。

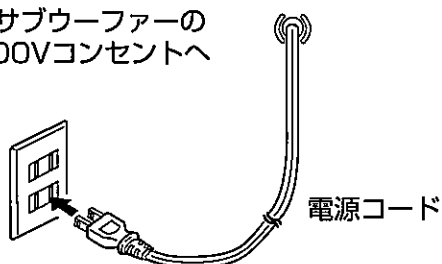
※テレビがプログレッシブ対応していなければテレビ画面は正常に映りません。出力方式をインターレース方式に設定しなおしてください。

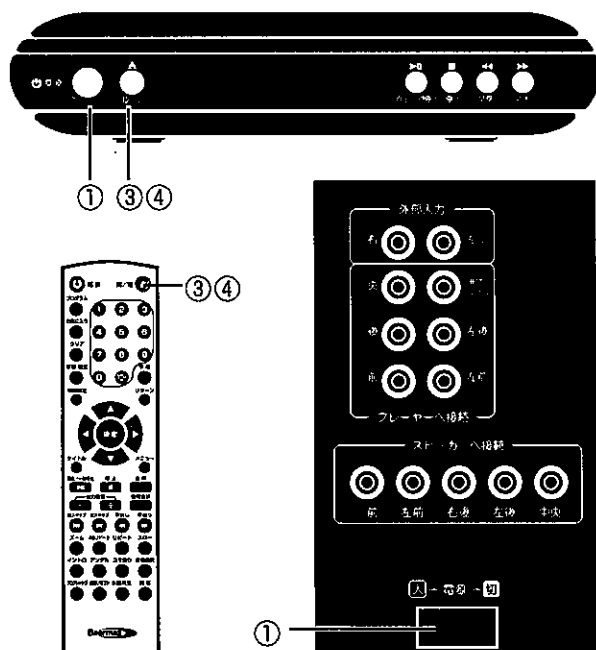
他のデジタルステレオ対応アンプと本機/DVDプレーヤーを接続する

デジタル音声入力端子付きアンプと本機/DVDプレーヤーをつないで、2チャンネルまたは、5.1チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しむことができます。

他のオーディオ機器と付属のスピーカーを接続する

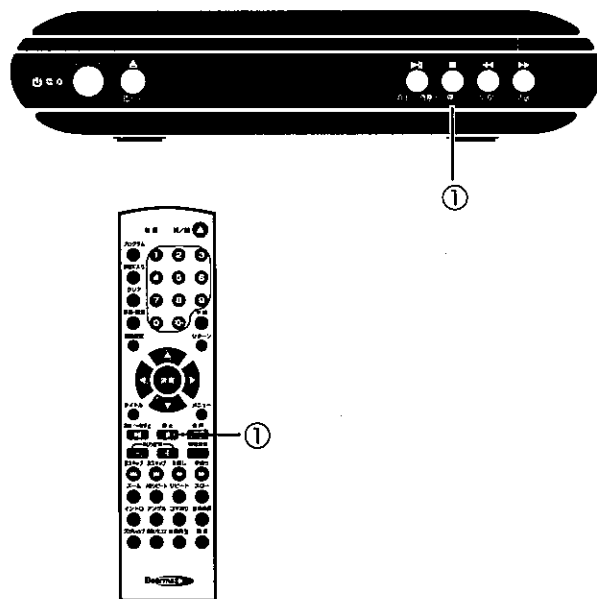
お手持ちのオーディオ機器と付属のスピーカーシステムをつないで、2チャンネルまたは、バーチャルサラウンドで迫力ある音響効果を楽しむことができます。

基本操作

電源コードを接続する

DVDプレーヤーとサブウーファーの
電源プラグをAC100Vコンセントへ
差し込みます

●電源コードを抜き差しするときは、電源ボタンで電源を切ってからおこなってください。

ディスクを再生する

① 本体の電源ボタンを押します。付属のスピーカーと接続している場合は、サブウーファーの電源を入れます。
② DVDなどの映像ソースを再生するときは、本機と接続したテレビ(モニター)の電源を入れます。
③ 本機の取出しボタンもしくはリモコンの開閉ボタンを押します。印刷面を上にして、トレイにディスクをセットします。
④ 取出しボタンを再度押します。自動的に読み込みを始めます。

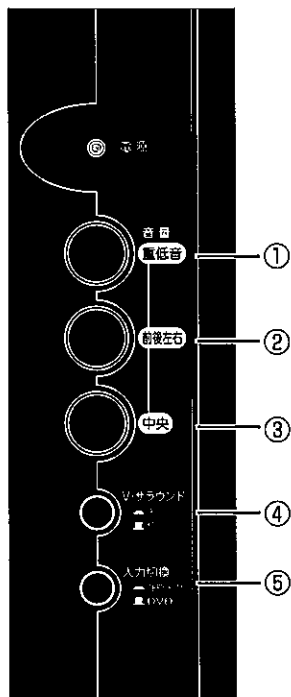
ご注意
・5.1チャンネルで使用しないときや、付属のスピーカー以外を使用するときは、電源をいれたあと、他の操作に移る前に初期設定のオーディオ設定を設定してください。(28ページ)

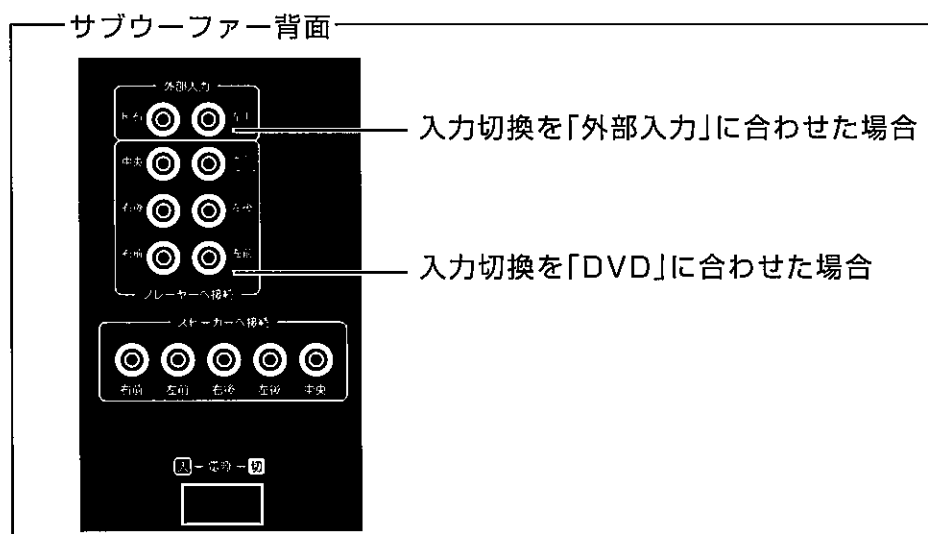
再生をとめる

① 本機の停止ボタン、もしくはリモコンの停止ボタンを押します。

続き再生メモリー機能
停止ボタンを1回押すと、とめた位置から再生が始まります。2回押すと、最初の画面から再生が始まります。

使い終わったら

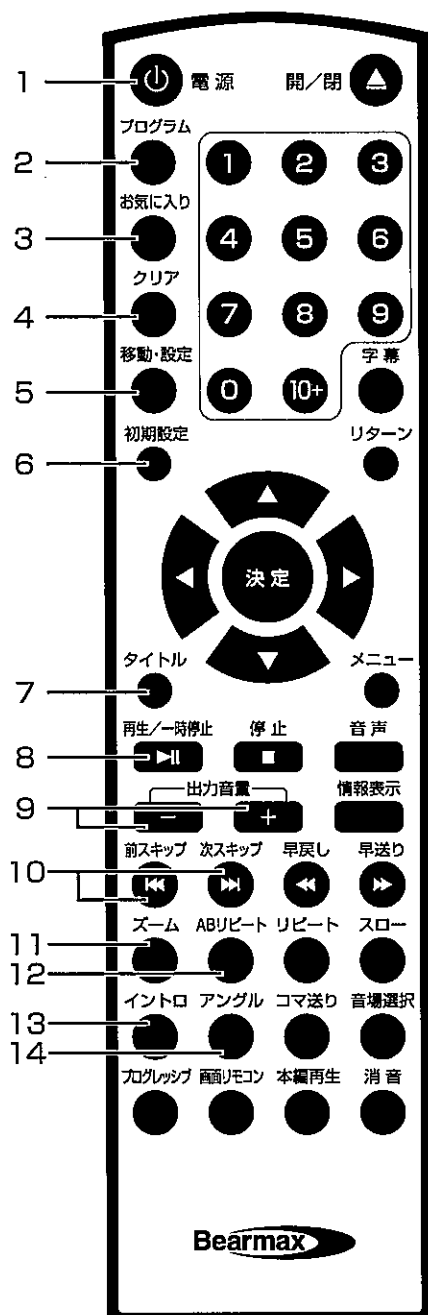
本機の取出しボタンもしくはリモコンの開閉ボタンを押して、ディスクをトレイから出し、本機もしくはリモコンの電源ボタンを押します。

付属のスピーカーを使う

①サブウーファー(重低音)音量調整ツマミ
時計回りにまわすとサブウーファーの音量が大きくなります。
②右前・右後・左前・左後音量調整ツマミ
時計回りにまわすと右前・右後・左前・左後スピーカーの音量が大きくなります。
③中央音量ツマミ
時計回りにまわすと中央スピーカーの音量が大きくなります。
④V. サラウンド(バーチャルサラウンド)ボタン
※⑤の入力切換が「DVD」の時のみ機能します。
入:付属の全スピーカーから音声がでます。
切:左前・右前・サブウーファーから音声がでます。
⑤入力切換ボタン
外部入力:外部入力端子に接続した音声を出力します。
DVD:5.1チャンネル入力端子に接続した音声を出力します。

サブウーファー背面

【使用例】
本機DVDプレーヤーと接続した場合
①入力切換ボタンを"切" にして「DVD」に合わせます。
②V.サラウンドボタンを"切"に合わせます。
③"重低音"・"前後左右"・"中央"の音量ツマミで、スピーカー音量を調整します。

他のオーディオ機器と接続した場合
①入力切換ボタンを"入"にして「外部入力」に合わせます。
②V.サラウンドボタンを"入"に合わせると、ステレオ音声が擬似5.1チャンネルで出力します。
"重低音"・"前後左右"・"中央"の音量ツマミで、スピーカー音量を調整します。

V.サラウンドボタンを"切"に合わせると、ステレオ音声で出力します。

リモコンを使ったその他の操作

1. 電源入 / 切ボタン

電源の入 / 切ができます。
電源切の状態でスタンバイモードになります。

2. プログラム再生ボタン

2つ以上のタイトルやチャプターがあるDVD/CD/MP3の場合、再生する順番の設定ができます。

①プログラム再生ボタンを押すと、設定ページが下図のように表示されます。
②数字ボタンで、TT（タイトル）とCH（チャプター）番号を入力します。
③入力が終わったら「開始」を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。

プログラム ： TT(--)/CH(--)

1	TT:_CH:_	6	TT:_CH:_
2	TT:_CH:_	7	TT:_CH:_
3	TT:_CH:_	8	TT:_CH:_
4	TT:_CH:_	9	TT:_CH:_
5	TT:_CH:_	10	TT:_CH:_

終了　開始　次へ　⏭

3. お気に入りボタン

DVDやCDの再生中にお気に入りボタンを押すと、その場面を記憶させることができます。
（録画機能ではありません。）

①お気に入りボタンを押すと、下図の設定画面が表示されます。
② DVD/CD再生中に、記憶させたい場面でリモコンの再生ボタンを押します。スペースに数字が表示され、お気に入りの場面が登録されます。（記憶）
③記憶させた場面を再生したいときは、リモコンの方向ボタンで記憶させた場面の番号を選択し、再生ボタンを押します。
④お気に入りボタンを押すと、元の画面に戻ります。

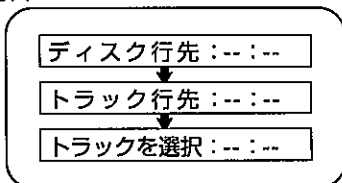
4. クリアーボタン

入力した値を削除します。

5. 移動・設定ボタン

移動：選択した場面に移動し、再生ができます。
①ボタンを押すと、下図の画面が表示されます。
②リモコンの方向ボタンで移動したいタイトル／チャプター／トラックの項目を選択し、決定ボタンを押します。
③移動したいタイトル／チャプター／トラックの数字、または時間を数字ボタンで入力します。
④選択した場面が上部にプレビュー表示されます。
⑤移動・設定ボタンを押すとプレビューが継続して再生されます。

DVDの場合

CDの場合

ディスク行先：ディスク内で移動したい時間が入力できます。
トラック行先：曲内で移動したい時間が入力できます。
トラックを選択：移動したいトラックの数字が入力できます。

設定：音声／字幕／アングル／リピート再生の設定／変更ができます。

6. 初期設定ボタン

初期設定のメニュー画面に切り換わります。
(詳細は P26~30 を参照。)

7. タイトルボタン

タイトルメニュー画面に戻ります。
※本機能対応ディスクのみ有効です。

8. 再生／一時停止ボタン

再生：ディスクを再生します。
一時停止：再生中に押すと一時停止します。
再び押すと通常の再生を再開します。

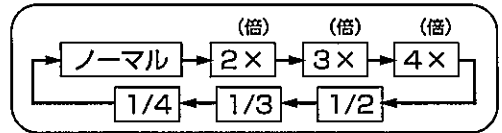
9. 出力音声ボタン

0～20のレベルで出力の音量を調節することができます。
※接続したテレビの音量調整はできません。

10. スキップ前／次ボタン

前または次のチャプター／トラックにスキップして再生します。

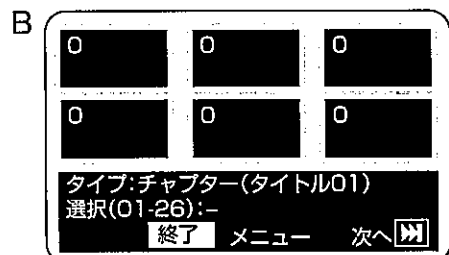
11. ズームボタン

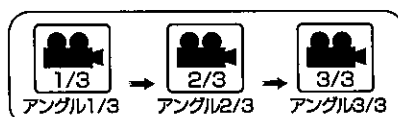
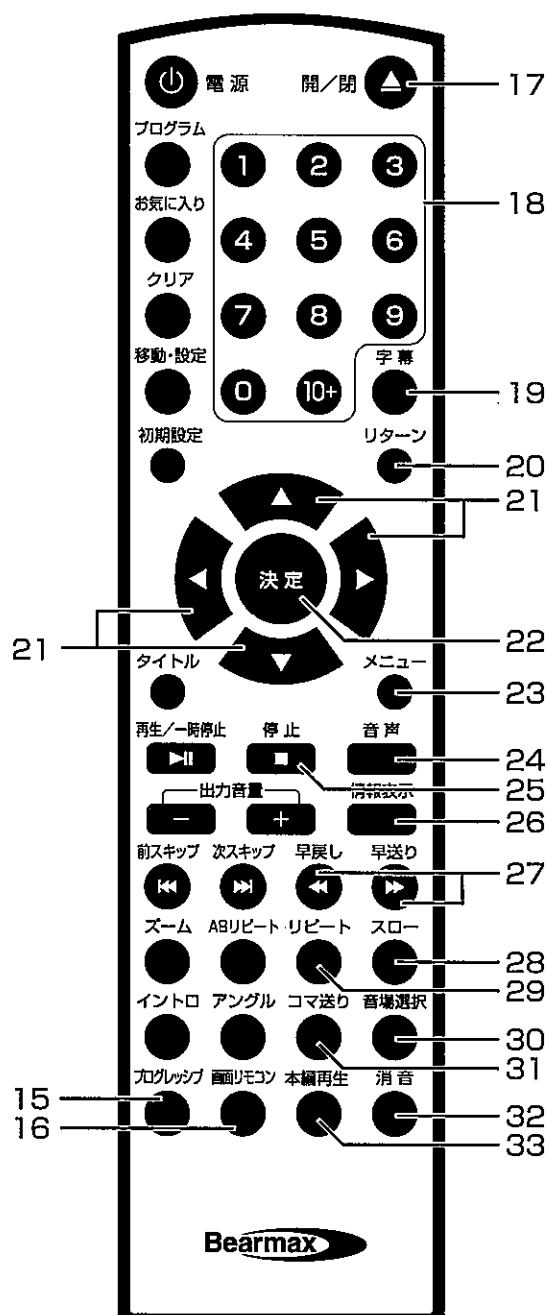
ズームボタンを押す毎に下図のように画面の倍率が切り換わります。

12. A-B リピートボタン

指定した場面の間を繰り返し再生します。
①繰り返し再生を始めたい場面で A-B リピートボタンを押します。
②終了させたい場面で A-B ボタンを押します。指定した間を繰り返し再生します。
③再度 A-B ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

13. イントロボタン

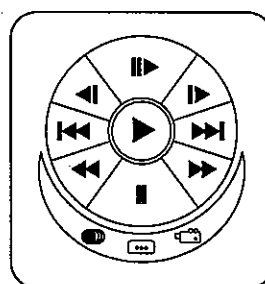
タイトル・チャプターのダイジェストもしくは、イントロ再生ができます。
①再生中にイントロボタンを押すと、下図Aが表示されれます。

②方向ボタンで再生したい項目を選択し、決定ボタンを押します。
③下図Bが表示されます。リモコンの方向ボタンで、再生したいチャプター・トラックを選択し、決定ボタンを押すと、再生を開始します。

14. アングルボタン

DVDのアングルを切り換えます。アングルボタンを押すたびに、下図のように切り換わります。
※複数のアングルで記録されたDVDのみ、ご使用になれます。

リモコンの使い方（つづき）

15. プログレッシブボタン

プログレッシブまたはインターレースの切り換えをします。プログレッシブ対応のテレビに接続した際に設定をします。（P16を参照。）

16. 画面リモコンボタン

再生中に画面リモコンボタンを押すと下図が表示されます。リモコンの方向ボタンで選択したいマークに移動し、決定ボタンを押します。選択されたマークは黄色に変わります。

▮▶ ：コマ送りボタン
◀▮▶ ：スロー再生ボタン
◉)) ：音声ボタン
(•••) ：字幕ボタン
アングルマーク ：アングルボタン
※その他のボタンはリモコンと同じ機能です。

17. 開／閉ボタン

ボタンを押すとディスクトレイが開きます。
再度押すとトレイは閉じます。

18. 数字ボタン（0～9、10＋）

数字を入力する時に使用します。10以上の番号を入力する時は10＋を使います。
例：「11」を入力する場合

⑩+ を押してから ① を押す。

19. 字幕ボタン

字幕の設定を選ぶことができます。
※本機能は、他種類字幕が記録されたディスクのみ有効です。

20. リターンボタン

メニュー画面に戻ります。

21. 方向ボタン

カーソルを移動させる時に使います。

22. 決定ボタン

選択したものを確定させる時に使います。

23. メニューボタン

1回押すとサブメニュー
2回押すとメインメニュー　に戻ります。
※本機能は、サブメニュー・メインメニューが記録されているディスクのみ有効です。

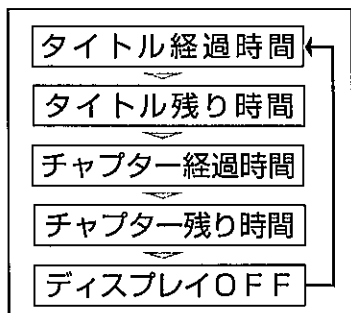
24. 音声ボタン

音声の設定を選ぶ事ができます。
※本機能は、他種類音声のディスクのみ有効です。

25. 停止ボタン

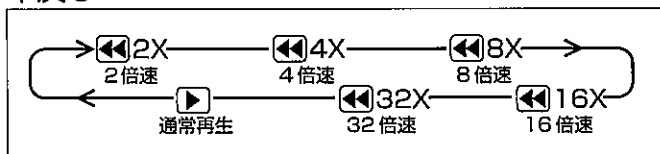
再生を停止させます。
１回押すと、モニターに「再生キーでリジューム」が表示され仮停止状態になります。再度再生ボタンを押すと、仮停止した所から再生がスタートします。
２回押すと本停止状態になります。再度再生ボタンを押すと、最初の場面からスタートします。

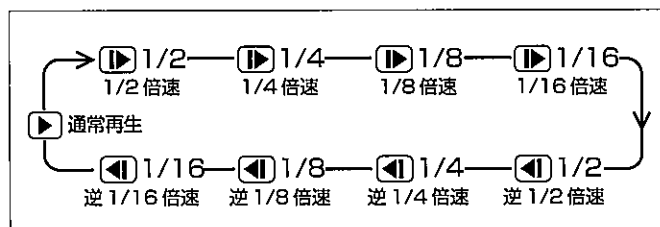
26. 情報表示ボタン

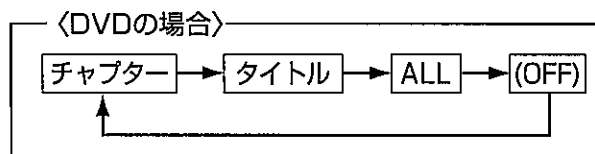
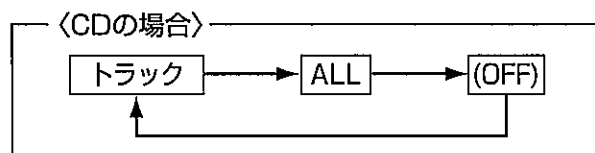
タイトル・チャプターの経過時間と残り時間が表示されます。１回押すたびに、下図のように切り換わります。

27. 早送り / 早戻しボタン

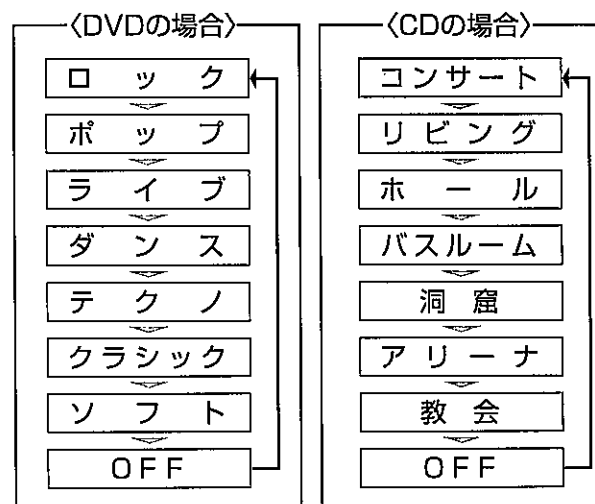
このボタンを押すと、２倍～32倍で早送り・早戻しができます。１回押すたびに、下図のように切り換わりま

早送り

早戻し

28. スローボタン

スローモーション再生ができます。１回押すたびに、下図のように切り換わります。
※本機能はDVDのみ有効です。

29. リピートボタン

繰り返し再生ができます。１回押すたびに、下図のように切り換わります。

チャプター：チャプターを繰り返し再生
タイトル：タイトルを繰り返し再生
ＡＬＬ：すべてを繰り返し再生
(OFF)：リピート機能ＯＦＦ（画面は無表示）

30. 音場選択ボタン

音場を選ぶことができます。１回押すたびに、下図のように切り換わります。

31. コマ送りボタン

静止画再生をします。再度ボタンを押すと、次の静止画を再生します。

32. 消音ボタン

音が消えます（ミュート）。再度ボタンを押すとテレビ画面に「ミュートOFF」が表示され、元の再生状態に戻ります。

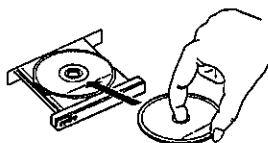
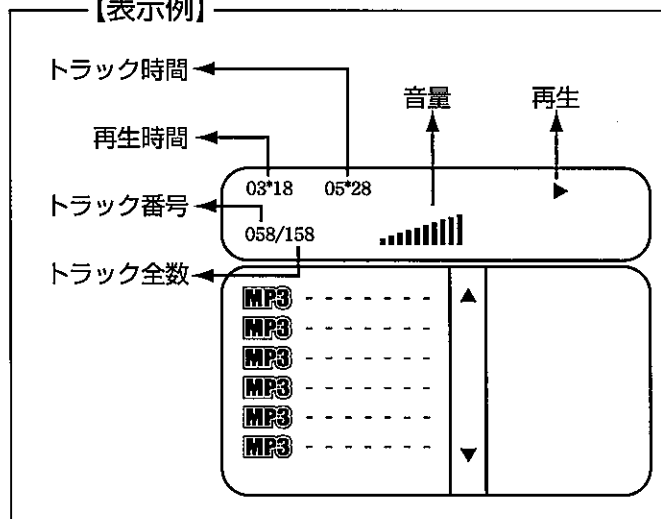
33. 本編再生ボタン

メニューや付録映像を省き、本編を再生します。

MP3ファイルを再生する

CD-R/CD-RWなどに記録されているMP3形式の音楽ファイルを再生することができます。

MP3ファイルを再生する

1. テレビまたはオーディオ機器と接続し、本機の電源を入れます。
2. 本体の開/閉ボタンを押します。
3. ディスクをディスクトレイに置きます。
   再生面を下にして溝にそって正しく置きます。

4. 開/閉ボタンを押します。
   ディスクトレイが閉まり、テレビ画面にメニューが表示されます。

5. リモコンの方向ボタンを押して、再生したいファイルを選びます。
   ファイルを選択し、リモコンの決定ボタンで確定します。
   再生が始まります。

⚠ MP3ファイル再生についてのご注意

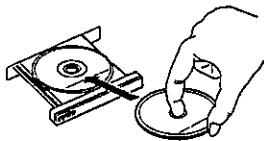
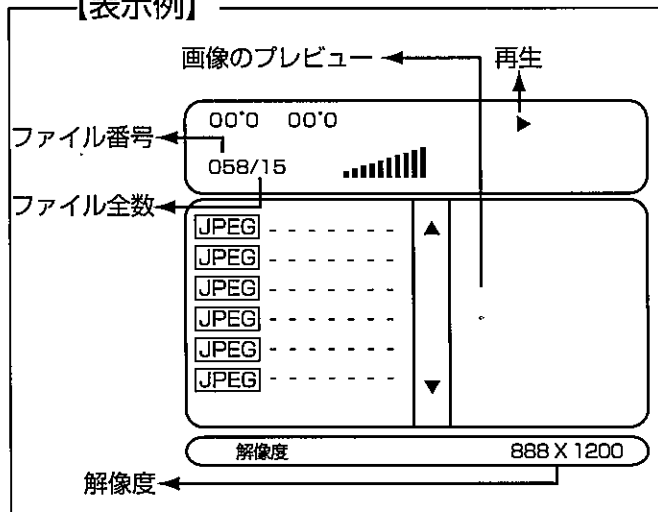
- ISO9660（レベル1，レベル2）フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
- オーディオCDトラックとMP3ファイルが混在したCDはオーディオCDトラックのみ再生します。
- ファイル構成にもよりますが、MP3ファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- 高音質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbbs以上のビットレートでの記録をお勧めします。
- ファイル名、ディレクトリ名は半角英数字で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は"_"（アンダーバー）で表示されます。
- ファイル/ディレクトリ数は最大256まで対応しています。257以降のファイルは再生できません。
- MP3CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- IDタグVer.1に対応していますが、32文字までの表示となります。表示可能文字は、半角英数字の限定となり、エンコードソフトにより正常に表示しない場合があります。
- MP3作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、それぞれの製造元にご確認ください。
- パケットライトソフト、Romeo形式、HFS形式には対応していません。
- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレートは、-32kHz、44.1kHz、48kHz、32kbbs～320kbbs（固定または可変のビットレート）になります。

JPEGファイルを再生する

JPEGファイルを再生する

1．テレビまたはオーディオ機器と接続し、本機の電源を入れます。

2．本体の開 / 閉ボタンを押します。

3．ディスクをディスクトレイに置きます。
再生面を下にして溝にそって正しく置きます。

4．開 / 閉ボタンを押す
ディスクトレイが閉まり、テレビ画面にメニューが表示されます。

5．方向ボタンを押して、見たい画像を選びます。

6．リモコンの決定、または再生ボタンを押します。
決定した画像以降が順にスライドショー再生します。
※再生を始めるまで、10秒程度時間がかかる場合があります。

●方向ボタンで、画像の回転ができます。
▲ 180℃回転
▼ 反転
◀ 左に90℃回転
▶ 右に90℃回転

●再生中にズームボタンを押してから早送り / 早戻しボタンを押すと、拡大 / 縮小表示をします。
ズームボタン＋サーチ（▶▶） 125%→150%→200%
ズームボタン＋サーチ（◀◀） 75%→50%

●再生中にプログラムボタンを押すと、画像切換方法の変更ができます。

⚠JPEGファイル再生についてのご注意

●ISO9660（レベル1，レベル2）フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
●JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。
●オーディオCDトラックとJPEGファイルが混在したCDは、オーディオCDトラックのみ再生します。
●ファイル構成にもよりますが、JPEGファイルを読み取るのに30秒以上かかることがあります。
●ファイル名、ディレクトリ名は半角英数字で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は“_”（アンダーバー）で表示されます。
●ファイル / ディレクトリ数は最大256まで対応しています。257以降のファイルは再生できません。
●ファイルサイズが大きい場合は、テレビ画面に表示されるのに時間がかかることがあります。
●記録された順序で画像を再生できないことがあります。
●記録状態により画像を再生できないことがあります。

主な仕様

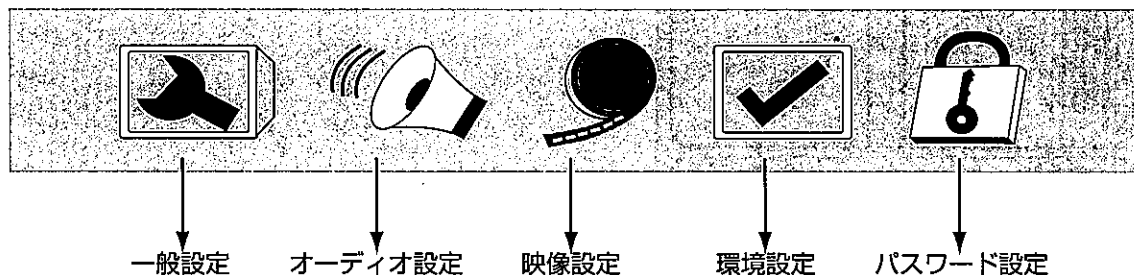
プレーヤー部
電源：100V 50/60Hz
消費電力：15W
外形寸法／重量：幅225×奥260×高50mm／1.1kg
映像システム：NTSC
周波数特性：DVD-Audio: Fs 48kHz PCM 4Hz～22kHz、
Fs 96kHz PCM 4Hz～44kHz
Audio-CD: Fs 44.1Hz 4Hz～20kHz
S/N比率：＞80dB
ダイナミックレンジ：＞80dB
ワウ・フラッター：測定限界以下
使用条件：温度0˜40° 、動作姿勢：水平
映像出力：1.0V(P-P)、75Ω
S-映像出力：(Y)1.0V (P-P)75Ω (C)0.286V (P-P)75Ω
音声出力（アナログ出力）：2.0V

スピーカー部
電源：100V 50/60Hz
消費電力：20W
スピーカーサイズ／定格出力：
サブウーファー　4インチ 4Ω／12W
フロント・センター・リア　2.5インチ 4Ω／2W ×5
周波数帯域：
サブウーファー：20Hz~180Hz
フロント・センター・リア：150Hz~20kHz
入力インピーダンス：7.8kΩ
外形寸法／重量：
サブウーファー　幅130×奥220×高200mm／3.2kg
サラウンドスピーカー　幅75×奥52×高111mm／150g
リモコン　幅45×奥24×高175mm／70g
コード長：
フロント×2／センター×1　2m
リア×2　10m

初期設定

リモコンの初期設定ボタンを押すと、テレビ画面に下図の設定メニューが表示されます。

〈設定メニュー〉

一般設定　オーディオ設定　映像設定　環境設定　パスワード設定

設定をするには

① 方向ボタン▶ で設定したいメニューを選び、決定ボタンを押します。
② 方向ボタン ▼ と ▲ で、設定項目を選択し、 ▶ ボタンで、設定内容を選択します。最後に、決定ボタンで確定してください。。
③ 項目の設定が終了したら、方向ボタン ◀ を押します。黄色の選択エリアがない状態で、設定メニューの切り換えができます。
④ 初期設定ページを終了する時は、再び初期設定ボタンを押してください。

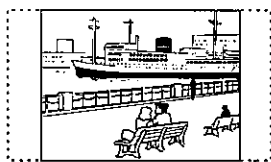
一般設定

一般設定ページ

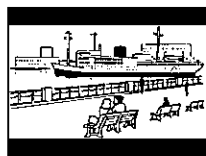
TV	LB	4:3パンスキャン 4:3レターボックス 16:9ワイド
アングル	オン	オン、オフ
OSD言語	日本語	英語、日本語
キャプション	オン	オン、オフ
スクリーンセーバー	オン	オン、オフ
ラストメモリ	オン	オン、オフ

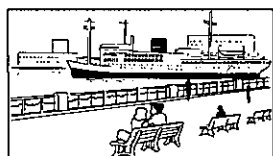
・TV

テレビの種類を選びます。

○ 標準/PS 4:3画面テレビ（パンスキャン）
ワイド画像は映像の左右をカットして表示。

カット　　カット

通常のテレビ（4:3）に接続したときに選択してください。
パンスキャンに対応したワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、ワイド画像の一部をカットして再生します。パンスキャンに対応しないワイド画像（16:9）のディスクではレターボックスで再生します。

○ 標準/LB 4:3画面テレビ（レターボックス）
ワイド画像は映像横長のまま、上下は黒く表示。

通常のテレビ（4:3）に接続したときに選択してください。ワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、レターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

○ ワイド 16:9画面のワイドテレビ

ワイドテレビ（16:9）に接続したときに選択してください。ワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。

※ディスクによっては、本機でテレビの種類を設定しても、ディスクが指定しているモードで再生される場合があります。

※テレビに出力される映像は、ソフトや接続するテレビによって異なります。

・アングル

マルチアングル対応のDVDソフトを再生するときに使用できます。

○ オン―アイコン表示する
（アイコン「3」―3アングル―を表示）

○ オフ

・OSD言語

画面表示の言語を選びます。

○ ENGLISH 英語表示

○ 日本語　日本語表示（初期設定）

・キャプション

（キャプション対応のDVDディスクのみ可。）

○ オン

○ オフ

・スクリーンセーバー

ブラウン管の焼き付き防止のため約3分間使われていないと、DVDのロゴを画面上に表示します。

○ オン―スクリーンセイバーを有効にする

○ オフ―スクリーンセイバーを無効にする

・ラストメモリ

最後に停止した位置をメモリーしておくことができます。

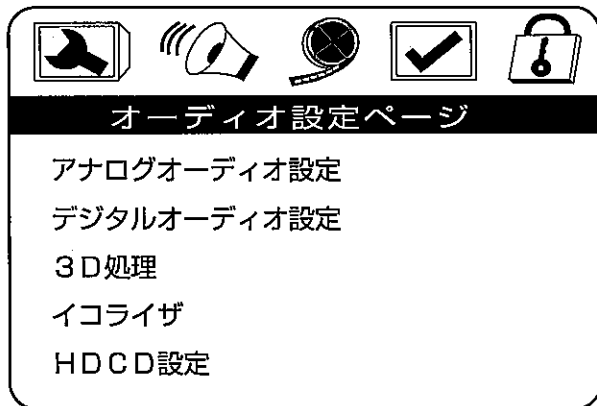
○ オン

○ オフ

初期設定（つづき）

オーディオ設定

オーディオ設定ページ

アナログオーディオ設定
デジタルオーディオ設定
３Ｄ処理
イコライザ
ＨＤＣＤ設定

・アナログオーディオ設定

ダウンミックス
ＬＴ／ＲＴ：左右ミックスモード
ステレオ：通常のステレオ
5.1 チャンネル：5.1 チャンネルで使うとき

フロントスピーカー
フロントスピーカーの音量の大きさを調整します。
大／小

センタースピーカー
センタースピーカーの音量の大きさを調整します。
(ダウンミックスで 5.1 チャンネルを選択した時のみ有効です。)
大／小／オフ

リアスピーカー
リアスピーカーの音量の大きさを調整します。
(ダウンミックスで 5.1 チャンネルを選択した時のみ有効です。)
大／小／オフ

サブウーファー
サブウーファーのスイッチ入切を設定します。
オン／オフ

テストトーン
つないだスピーカーからテスト音を出します。
(ダウンミックスで 5.1 チャンネルを選択した時のみ有効です。)
オン／オフ

ダイアログ
音量の調節をします。
(ダウンミックスでＬＴ／ＲＴかステレオを選択した時のみ有効です。)
・レベル－0～20

チャンネルトリム
チャンネルごとに音量の設定ができます。
センターディレイ／左／右／リアディレイ／
リアサラウンド／サブウーファー

・デジタルオーディオ設定

デジタル出力
・SPDIF オフ
アナログ端子でテレビやオーディオを接続しているとき。
・RAW －ドルビー
デジタル等のデコーダー内蔵アンプを接続しているとき。
・PCM ONLY
２ch デジタルアンプを接続しているとき。

ダイナミック
音質をそこなうことなく、響きやすい高音のレベルを下げます。
・OFF～FULL

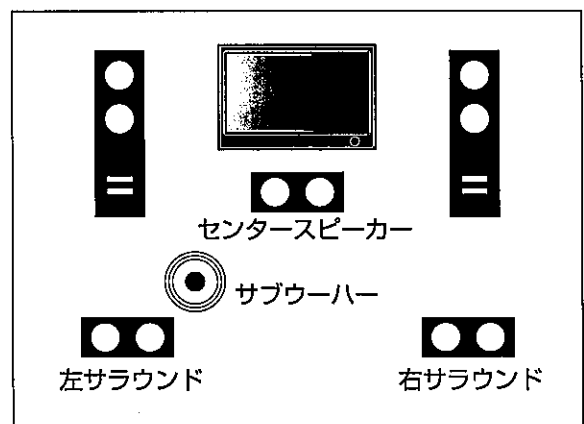
LPCM 出力
お使いの接続機器に合わせて設定してください。
・48K
・96K

・３Ｄ処理
アナログオーディオ設定で、5.1 チャンネルを選択した時のみ有効です。

PRO LOGIG Ⅱ
オン　／　オフ　／　自動

モード
音楽／映画

リバーブモード
音場の設定ができます。
オフ／コンサート／リビング／ホール／
バスルーム／洞窟／アリーナ／教会

チャンネルディレイ
スピーカーの位置をマニュアルで設定することにより、リバーブモードでさらに臨場感を出すことができます。

チャンネルディレイを設定するには
①方向ボタン ▼ でチャンネルを選択します。
②方向ボタン ▶ と ◀ で、スピーカーの距離を入力し、決定ボタンを押して確定します。
③方向ボタン ◀ でオーディオ設定トップページに戻ります。

・イコライザ

サウンドモード

聞く音楽に合わせて設定してください

オフ ／ ロック ／ ポップ ／ ライブ ／ ダンス ／
テクノ／クラシック／ソフト

ベースブースト（低音強調）

オン ／ オフF

スーパーベース（超重低音）

オン ／ オフ

トレブルブースト（高音強調）

オン ／ オフ

・HDCD 設定

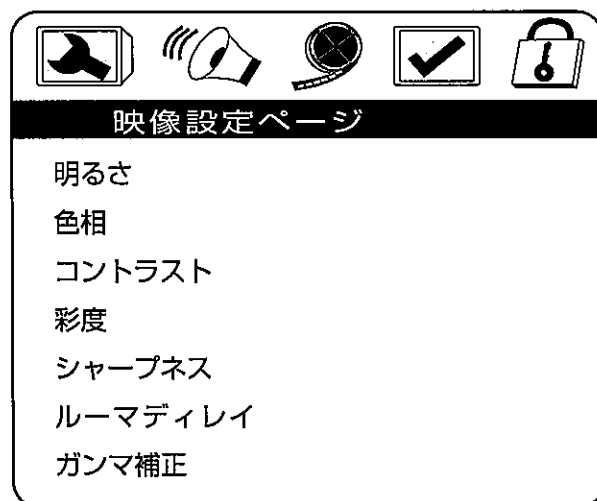
フィルター

オフ―すべてをアウトプットします。

44.1K－0～44.1kHz の音域をアウトプット可能。
88.2K－0～88.2kHz の音域をアウトプット可能。

映像設定

映像設定ページ

明るさ
色相
コントラスト
彩度
シャープネス
ルーマディレイ
ガンマ補正

・明るさ

-20～+20 まで調整可能
方向ボタン◀▶ で調整の後、決定ボタンで確定してください。

・色相

-9～+9 まで調整可能
方向ボタン◀▶ で調整の後、決定ボタンで確定してください。

・コントラスト

-16～+16 まで調整可能
方向ボタン◀▶ で調整の後、決定ボタンで確定してください。

・彩度

-9～+9 まで調整可能
方向ボタン◀▶ で調整の後、決定ボタンで確定してください。

・シャープネス

高／中／低 から選択してください。

・ルーマディレイ

0T―遅延なし
1T―遅延あり

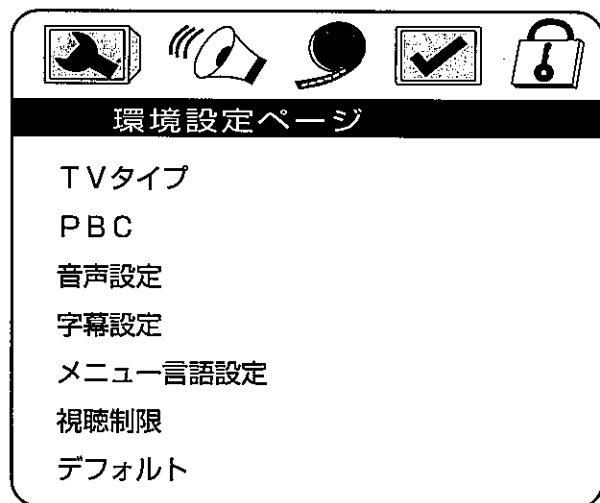
・ガンマ補正

高／中／低／なし から選択してください。

初期設定（つづき）

環境設定

環境設定ページ

ＴＶタイプ
ＰＢＣ
音声設定
字幕設定
メニュー言語設定
視聴制限
デフォルト

・ＴＶタイプ
自動
NTSC（日米方式）日本国内の設定

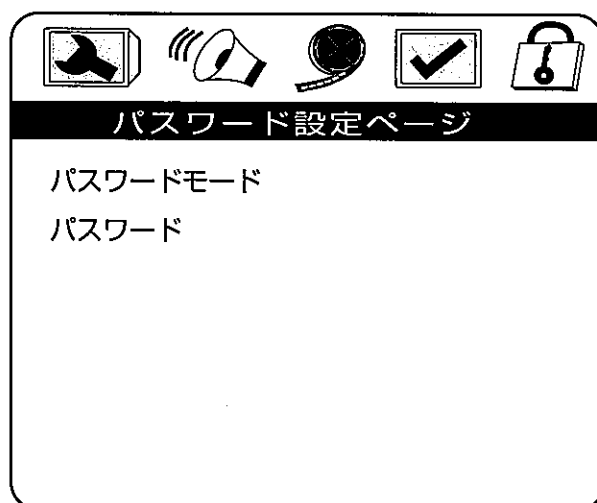
・PBC
Play Back Control付きのビデオCDの操作ができます。
オン ／ オフ

・音声設定
日本語 ／ 英語

・字幕設定
日本語 ／ 英語 ／ オフ

・メニュー言語設定
日本語 ／ 英語

・視聴制限
視聴制限の機能を備えたDVDディスクのみ有効です。
レベル１—KIDS SAFE／子供に安心して見せることができる。
レベル２—保護者の指導なしで見せることができる一般向け映画。
レベル３—父兄・保護者同伴。
レベル４—１３才以下は親同伴。
レベル５—１５才以下は親同伴。
レベル６—１７才以下は親同伴。
レベル７—１７才未満は視聴禁止。
レベル８—成人向けの内容。

・デフォルト
リセット—工場出荷時の設定に初期化します。

・パスワードモード
オン—パスワードを設定します。
オフ—パスワードを設定しません。

・パスワード
変更—設定したパスワードの変更ができます。

古いパスワード	□□□□
新しいパスワード	□□□□
パスワード確認	□□□□
ＯＫ	

新しいパスワードを設定するには
①「古いパスワード」に、リモコンの数字ボタンで“8806”を入力します。
②方向ボタン▼ で、「新しいパスワード」に移動し、新しい暗証番号の数字を入力します。
③「パスワード確認」に、再度新しい暗証番号を入力します。
④「OK」を選択し、決定ボタンを押します。
※工場出荷時のパスワードは[8806]です。
※万が一、パスワードを忘れてしまったときは、環境設定ページのデフォルトでリセット（初期化）してください。

故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

	症　状	対処方法
共通	電源が入らない	・電源プラグをコンセントに入れてください。
	音が聞こえない	・音量調節をしてください。 ・消音になっていないか確認してください。
	音がひずむ	・音量を小さくしてください。 ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
DVD／CD部	ディスクの再生が始まらない	・ディスクが裏返しになっている。 → 文字のある面を上にしてください
	"NO DISC" が表示される	・ディスクトレイがしっかりと閉じていることを確認してください。 ・DVD の再生ボタンを押してください。 ・DVD レンズに露（水滴）がついている。→ディスクを取り出し、DVD ドアーを開けて 1 時間ほどそのままにしておいてください。 ・ディスクが汚れている。 → ディスクを清掃してください。 ・ファイナライズ処理（録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていない DVD-R/RW は再生できません。 ・DVD-R/RW は、ディスクや記録したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。 ・VR モードで録画された DVD-RW は再生できません。
	ディスクの映像や音が出ない	・付属の AV ケーブル（赤・白・黄）が正しく接続されているか確認してください。 ・リモコンのプログレッシブボタンを何度か押してみてください。
	ディスクの映像や音が飛ぶ／正常な動作や表示ができない	・テレビの入力切換が外部入力になっているか確認してください。 ・安定した場所に置いてください。
	ディスクの音が出ない	・ディスクが汚れている。 → ディスクを清掃してください。 ・デジタル音声出力を正しく設定してください。（26 ページ）
リモコン部	リモコンが操作できない	・リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換してください。 ・リモコンを本機に向けて操作してください。 ・リモコンと本機受光部の障害物を取り除いてください。 ・リモコンで、接続した TV の音量調整はできません。
スピーカー部	片側チャンネルの音がほとんど出ない	・スピーカーコード・オーディオケーブルの接続を確認してください。
	フロント（中央）以外のスピーカーから音が出ない	・付属のスピーカーを使用している場合は、初期設定のアナログオーディ設定が "5.1 チャンネル" に設定されているか確認してください。
	付属のスピーカーから音が出ない	・サブウーファーの音量調整ツマミで音量レベルを上げてください。
	ハム音が出る	・ピンケーブルの接続を確認してください。

お願い 表示や動作が異常になったときは、本機の電源ボタンで一度電源を切り、再度電源を入れてください。
または、電源を切って電源プラグを抜き、数秒後もう一度差し込んで操作し直してください。
（落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。）

保 証 書

保証・アフターサービスについて

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保 証 書

DVDホームシアターサウンドシステム 型番HT-6000

本商品が故障した場合には、下記に必要事項をご記入の上、弊社にお送り頂くよう、お願い致します。
尚、この保証は次に明示した期間、及び条件のもとにおいて無料修理あるいは交換をするものです。

商品名	DVDホームシアターサウンドシステム 型番HT-6000
保証期間	お買い上げ日から1年間
お買い上げ日	平成 年 月 日
お買い上げ店	
お客様ご住所	〒 TEL NO.
お名前	
故障の症状	

[無料保証規定]

1. 正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は、交換をさせていただきます。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
3. 故障の場合は上記のダメージレポートに状況を記入いただき、商品と同封の上、ご返却ください。
4. 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
5. お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
6. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障及び損傷は保証の対象外となります。
7. 本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
8. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
9. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

輸入・総発売元：株式会社 クマザキエイム
〒222-0013
横浜市港北区錦が丘12-17
TEL：045-401-7486
FAX：045-435-0057
E-mail:info@kumazaki-aim.co.jp
www.kumazaki-aim.co.jp

HT-6000-200609